

協議 1

上尾市立平方幼稚園の今後の対応について

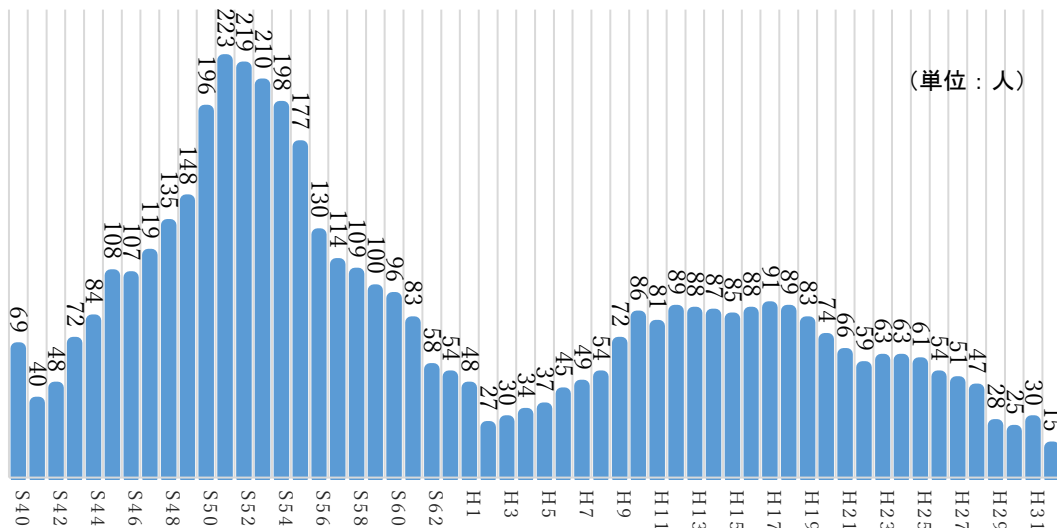
令和3年1月

＜これまでの経過＞

平方幼稚園については、市内唯一の公立幼稚園として昭和40年に開園し、現在4歳児1名、5歳児14名の計15名の園児が通園している。

園児数は、昭和50年代をピークに減少傾向にあり、現在、定員100名のところ、令和3年度は4歳児新規入園の募集を停止しており、5歳児1人の園児となることが見込まれる。

●園児数の推移



「第8次上尾市行政改革大綱・行政改革実施計画」においても、民間幼稚園の就園状況に鑑み、抜本的な見直しを行う必要があるとされ、また、当幼稚園の施設である東棟（保育室棟）が令和3年度に耐用年数を迎え、続いて講堂（ホール）が翌年の令和4年度に耐用年数を迎えることから、教育委員会では、様々な意見をいただきながら検討してきた。

令和元年上尾市議会12月定例会において、関連条例が否決されたが、その理由として、① 保護者への説明が不足していること、理解を得られていないこと、市長や教育長の保護者への説明もなく、誠意を感じられないこと、③ 今後の幼児教育の展望が見えないことと整理して、令和2年度も引き続き検討及び保護者説明会を行ってきた。

令和2年10月には、極めて少ない人数での教育環境を教育委員会として認めることができなかったことや、コロナ禍を含めて、厳しい財政状況下において「事業の選択と集中」を決断しなければならなかったことを理由として、令和3年以降の年少組の入園募集を停止したところである。

●これまでの主な検討経過

年月日	事項
令和元年6月26日	■令和元年教育委員会6月定例会 協議 上尾市立平方幼稚園の在り方について
9月6日	■保護者説明会 歴代PTA会長6名 / 教育総務課主幹・副主任 / 園長・副園長
9月19日	■保護者説明会 保護者26名 / 教育総務部長・次長・教育総務課長・主幹・副主任 / 園長・副園長
11月10日	■保護者説明会 保護者34名 / 教育総務部長・次長・教育総務課長・主幹・副主任 / 園長・副園長・教諭4名
11月22日	■令和元年教育委員会11月定例会 議案 上尾市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定に係る意見の申出について 原案可決
12月24日	■令和元年上尾市議会12月定例会 議案 上尾市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について 原案否決
令和2年7月1日	■保護者説明会 保護者4名 / 教育総務課長・主幹 / 園長・副園長
7月21日	■保護者説明会 保護者4名 / 教育総務課長・主幹 / 園長・副園長
8月31日	■保護者説明会 保護者5名・元PTA会長4名 / 教育総務課長・主幹 / 園長・副園長
9月17日	■保護者要望書への回答・意見交換（教育長・教育委員出席） 保護者16名・元PTA会長3名 / 教育長・教育委員4名・教育総務部長・次長・教育総務課長・主幹・副主任 / 園長・副園長
10月7日	■募集停止に係る入園希望保護者への事前説明 入園希望保護者1名・その他保護者3名 / 教育総務課長・主幹・副主任 ■募集停止に係る保護者説明 保護者名12名・元PTA会長2名 / 教育総務部長・次長・教育総務課長・主幹・副主任 / 園長・副園長
10月9日	■募集停止に係る保護者説明（追加） 保護者12名・元PTA会長3名 / 教育総務部長・次長・教育総務課長・主幹・副主任 / 副園長
10月12日	■入園希望保護者への説明・意見交換 入園希望保護者夫婦・その他保護者3名 / 教育総務課長・副主任
10月13日	■入園希望保護者への私立幼稚園の募集情報の提供 入園希望保護者1名・その他保護者3名 / 教育総務課長
10月14日	■（追加提供）入園希望保護者への私立幼稚園の募集情報の提供 入園希望保護者1名・その他保護者2名 / 教育総務課長
10月20日	■令和3年度年長組の指導方法に係るヒアリング 学校教育部長・指導課長・副主任 / 園長・副園長・担任
11月26日	■要望書に対する回答説明 保護者14名 / 教育総務課長・主幹・副主任 / 副園長
12月14日	■今後のスケジュールについて説明 保護者6名 / 教育総務課長・主幹・副主任
12月7日	■令和3年度年長組保護者への説明・意見交換 保護者 / 園長

<今後の対応予定>

当幼稚園については、今後関連条例の改正の上程を進め、同時に、上尾市の幼児教育についても、幼児教育振興協議会の充実を図るとともに、幼保小連携合同研修会を継続的に実施するなど、幼児教育への支援を推進していく。

●今後の主な予定

予定年月日	予定事項
1月21日	■令和3年教育委員会1月定例会 協議 平方幼稚園の今後の対応について
2月10日	■令和3年教育委員会第1回臨時会 議案 上尾市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定に係る意見の申出について
2月19日	■令和3年上尾市議会3月定例会 議案上程 上尾市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について ～以下、当該議案が可決された場合のスケジュール～
12月頃	■教育委員会 議案 関連規則、訓令等の改廃について
令和4年3月31日	■上尾市立平方幼稚園閉園

<令和2年上尾市議会12月定例会 一般質問における主な関連質問>

[12/17 新藤孝子議員]

(問) 平方幼稚園に在園する障害のある児童数について

(答) 本年度は、在園している15名中3名の児童について、特別な支援を必要とする
幼児をお預かりしている。

(問) 幼児の障害の種類や程度によって「障害児への接し方」など、特別な教育を受けた幼稚園教諭が配置されているのか。

(答) 配置されている幼稚園教諭は、免許を取得する過程で、特別支援に関する内容を履修している。
また、配置後、特別支援に関する研修等を受けることで、専門的な知識をみに付け、指導力向上を図っている。

(問) 公的支援はあるのか、また市からの支援はあるのか。

(答) 私立幼稚園に対しましては、埼玉県が、心身に障害等のある幼児が在園する幼稚園に対する「私立幼稚園特別支援教育費補助金」がある。当該補助金は、補助教諭の雇用経費や手すり等の修繕費用を補助するもの。
補助単価は予算の範囲内で交付されるが、令和2年度の予定額は、最大で784,000円という金額が示されており、1/2が国庫補助金。市からの支援はない。

(問) 平方幼稚園が無くなってしまった場合、幼児教育について、どう考えるか。

(答) 幼児教育は、人間形成の基礎が培われる重要な時期を担う幼児期の教育であると捉え、幼稚園、認定こども園、保育所(園)、小学校などの関係者が連携していくことが重要であると認識している。そのため、市の総合計画や教育振興基本計画に幼児教育を位置付けていく。

また、幼児教育振興協議会の充実を図るとともに、幼保小連携合同研修会を継続的に実施するなど、幼児教育への支援を推進していく。

[12/17 轟信一 議員]

(問) 昨年12月の条例案の否決をどのように受け止めているのか。

(答) 昨年12月定例会における条例案の否決については、大変重く受け止めている。

否決の理由を「保護者への説明が不足し、理解を得られていないこと」、「今後の幼児教育の展望が見えないこと」等に整理をして、現在、保護者との話し合いを進めているところ。

(問) 答申の内容を見ると平方幼稚園の記載が一切見られない。何をもって閉園としたのか。

(答) 協議会へは、「平方幼稚園の閉園」について諮問したのではなく、上尾市の幼児教育の状況について諮問したもので、協議会からの答申を基に、上尾市の幼児教育の状況や市民全体に対する税の配分の公平性等を総合的に勘案した結果、決定したものの。

(問) 条例案の否決からこれまでの経過

(答) 条例案の否決を受けまして、市議会から指摘された事項について対処すべく、公立幼稚園を閉園した他の自治体に対し、閉園に係るプロセスなどを調査、検討を行った。その後、市議会からいただいた「保護者の方々に対する十分な説明が必要である」とのご意見を踏まえ、保護者との話し合いを、これまでに11回実施してございますが、話し合いは現在も継続中。

(問) 保護者との話し合いの中で、どのような意見が出されたのか。

(答) 保護者からの意見としては、「園児が増えない理由は、教育委員会が3年保育や給食など、何も対策を講じてこなかったからである」、「私立幼稚園で馴染むことができなかつた子を、平方幼稚園では丁寧に見てもらった」、「上尾の幼児教育が具体化されていない」などのご意見をいただいている。

(問) 平方幼稚園の募集停止後、市として発達障害を持つお子さんの対応は。

(答) 公立私立を問わず、市内幼稚園、保育所等では、特別な支援を必要とする幼児に関する相談に丁寧に対応していると認識。発達支援相談センター等の関係機関と連携するなどして、発達障害のある子どもの特性に応じた幼児教育を受けることができるよう支援していく。

(問) 令和3年度の少人数での教育について、どのような課題があり、どのように進めていくのか。

(答) 令和3年度の課題としては、少人数であることから、同年代の友達との関わりの中で、気持ちを伝え合い、支えあって生活する楽しさを味わうことや主体性や社会性を身に付けていくことが困難であることなどが挙げられる。できる限り同年代の友達と一緒に活動することができるよう、具体的な方策を検討している。